

「若年女性の性暴力被害等に関するインターネット調査」 報告書<概要>

令和4年度
内閣府委託調査

調査目的

近年、モデルやアイドル等の勧誘を装った声かけ等をきっかけに若年層の女性が性的な被害を受ける問題や、A V出演被害といった問題が生じていることをふまえ、若年層の性暴力被害の状況を把握し、施策を検討することを目的にオンラインアンケートを実施した。

1. 実施概要

- ・15歳（中学生を除く）から39歳までの女性（事前調査（スクリーニング調査）：20,000人、本調査：2,678人）に対するインターネット調査
※本調査対象者：事前調査において、モデル・アイドル等の勧誘をされ、これに応じた、又は募集広告に応募した経験があると回答した者
※本調査の結果は、任意で調査に協力した回答者の回答内容に基づいた結果であり、疫学的遭遇率を示すものではない。
- ・調査実施時期：令和5年2月

2. 調査結果の概要

1. 勧誘・応募等の状況（事前調査（スクリーニング調査））

- 事前調査回答者20,000人のうち、**19.3%（3,850人/約5人に1人）がモデル・アイドル等の勧誘をされたことがある**（図1）、そのうち**25.1%（968人/約4人に1人）が勧誘に応じている**（図2）。
- モデル・アイドル等の**募集広告を見て応募した人は10.4%（2,075人/約10人に1人）**（図3）。

図1. モデル・アイドル等の勧誘の有無
（報告書図1-1）

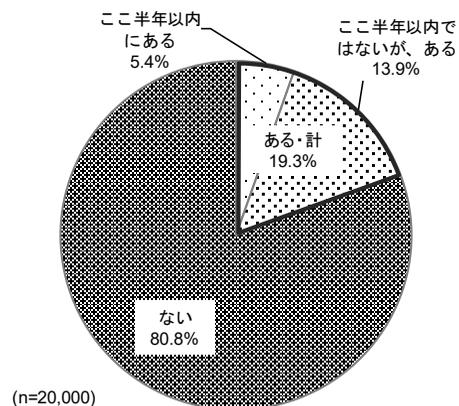


図2. 勧誘をされた際の対応
（報告書図1-2-1）

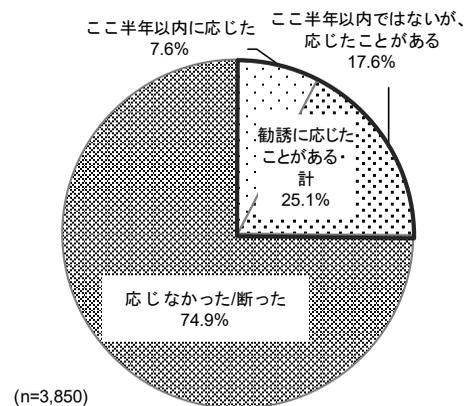
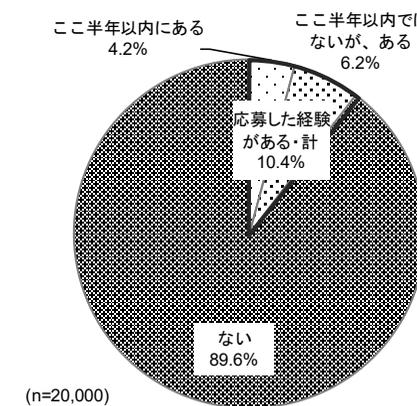


図3. モデル・アイドル等のアルバイトの募集広告を見て応募した経験
（報告書図1-3）



2. 問題や法律の認知度（事前調査（スクリーニング調査））

- モデル・アイドル等の勧誘やアルバイト等をきっかけに、同意していない性的な行為等の写真や動画の撮影に応じるよう求められるといった**問題について、「知っている」と答えた人は22.8%（4,550人/約4人に1人）**であった（図4）。
- また、そういった撮影に応じる契約をなかったことにしたり、撮影した動画の公表を差し止めたりできる**法律（AV出演被害防止・救済法）について「知っている」と答えた人は11.9%（2,382人/約8人に1人）**であった（図5）。

図4. 問題の認知度（報告書図1-5）

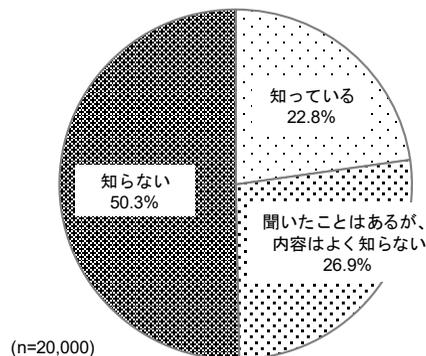
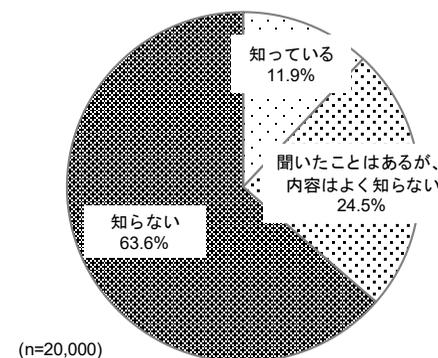


図5. 法律の認知度（報告書図1-6）



3. 聞いていない・同意していない性的な行為等の要求や撮影の状況（本調査）

- モデル・アイドル等の勧誘に応じた、又は募集広告に応募した経験がある2,575人のうち、**聞いていない・同意していない性的な行為等を求められた経験がある人は、15.6%（402人/約6人に1人）**であった（図6）。そのうち**27.9%（112人/約4人に1人）が望まないまま、求められた行為を実際に行っており（図7）、これは一般全体（2,575人）の4.3%（約23人に1人）に相当する（図8）**。
- また、望まないまま、求められた行為を実際に行った112人のうち、**5.4%（6人/約20人に1人）がここ半年以内に経験している**。

図6. 聞いていない・同意していない性的な行為等を要求された経験（契約有無不問）（報告書図2-9-1）

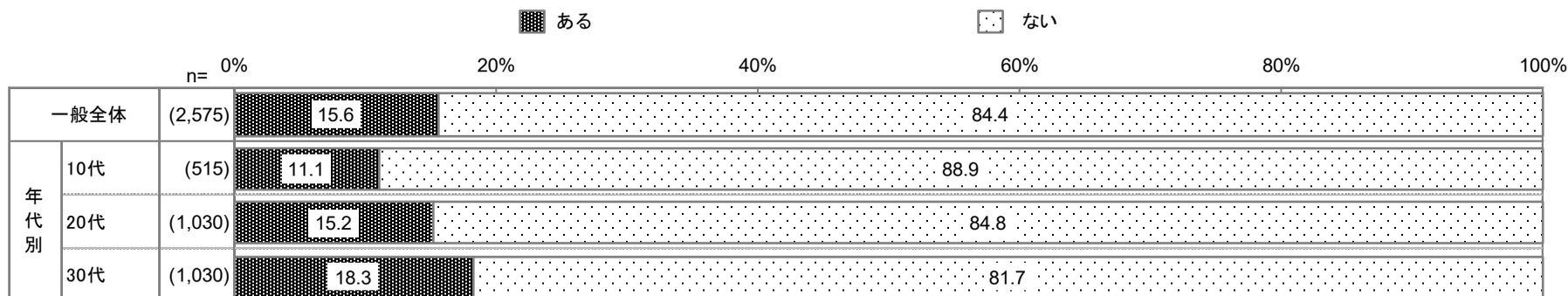


図7. 聞いていない・同意していない性的な行為等を要求された際の対応（契約有無不問）（報告書図2-9-2）

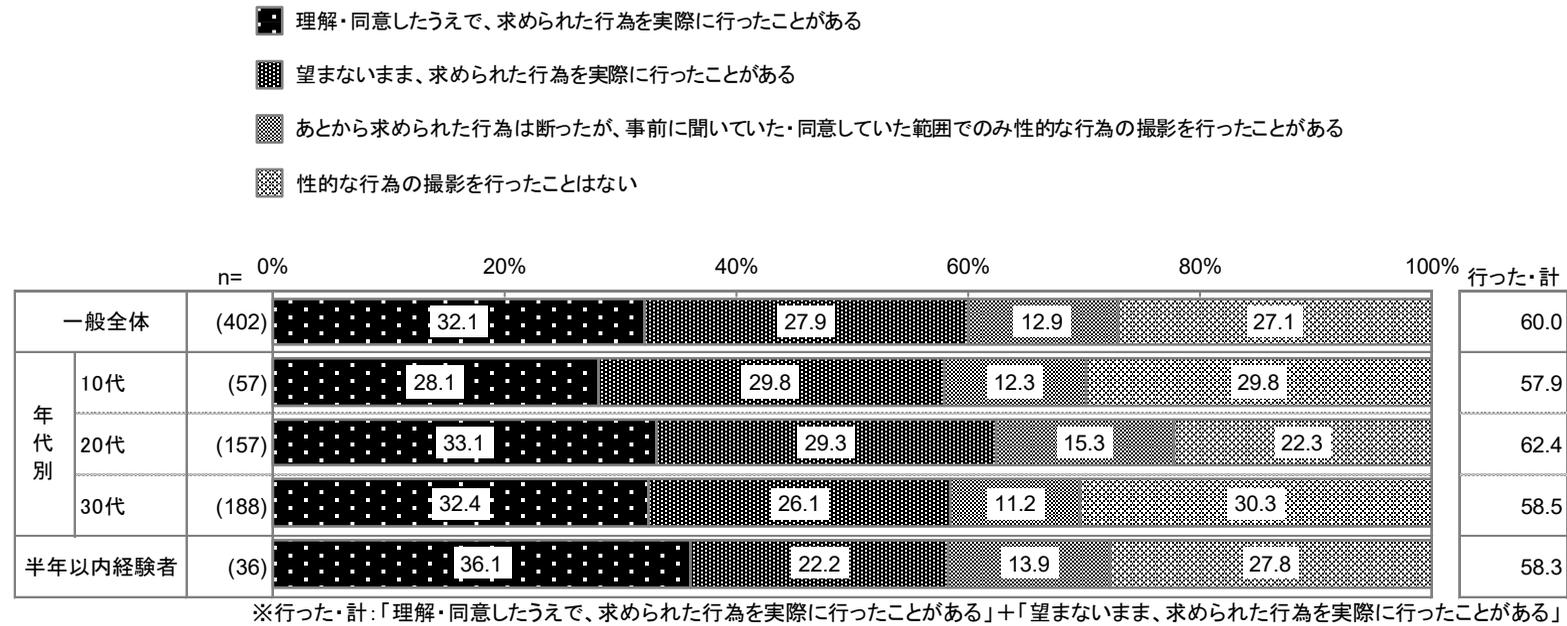
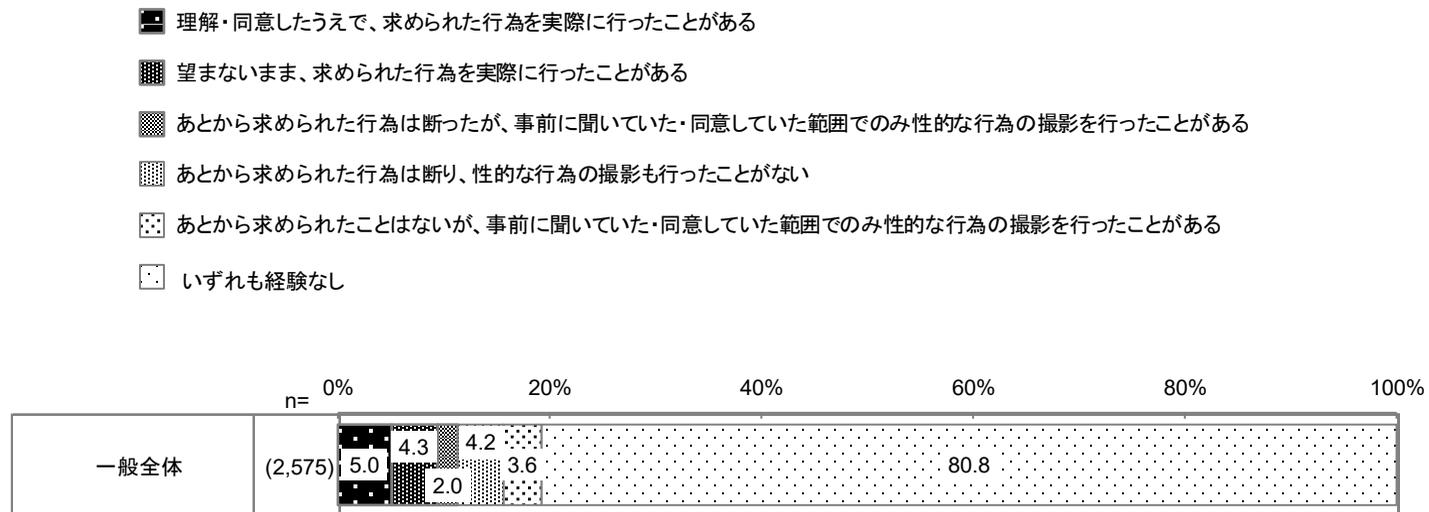


図8. 一般全体における要求・撮影状況（契約有無不問）（報告書図2-11-1）

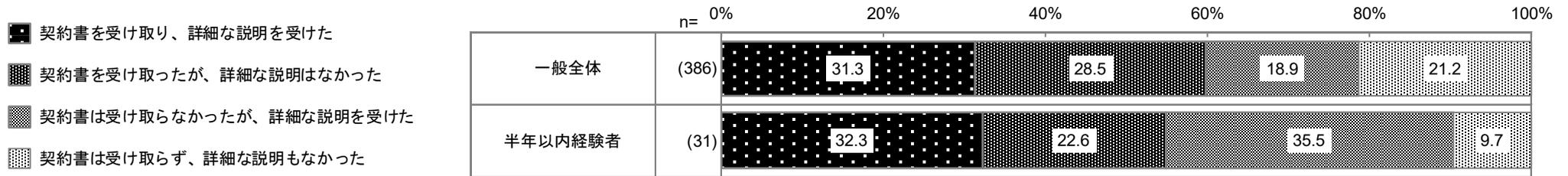


4. 性的な行為等の撮影に際する契約・説明の状況（本調査）

○性的な行為等の撮影を行った386人※のうち、「**契約書を受け取り、詳細な説明を受けた**」人は**31.3%（121人/約3人に1人）**であった。詳細な説明はなかった人を含めると、「**契約書を受け取っていた人は59.8%（231人/2人に1人以上）**であった（図9）。

※聞いていない・同意していない性的な行為を求められ、実際に行った人及び事前に聞いていた・同意していた範囲で撮影を行った人

図9. 性的な撮影をする前の契約・説明の状況（報告書図2-12）



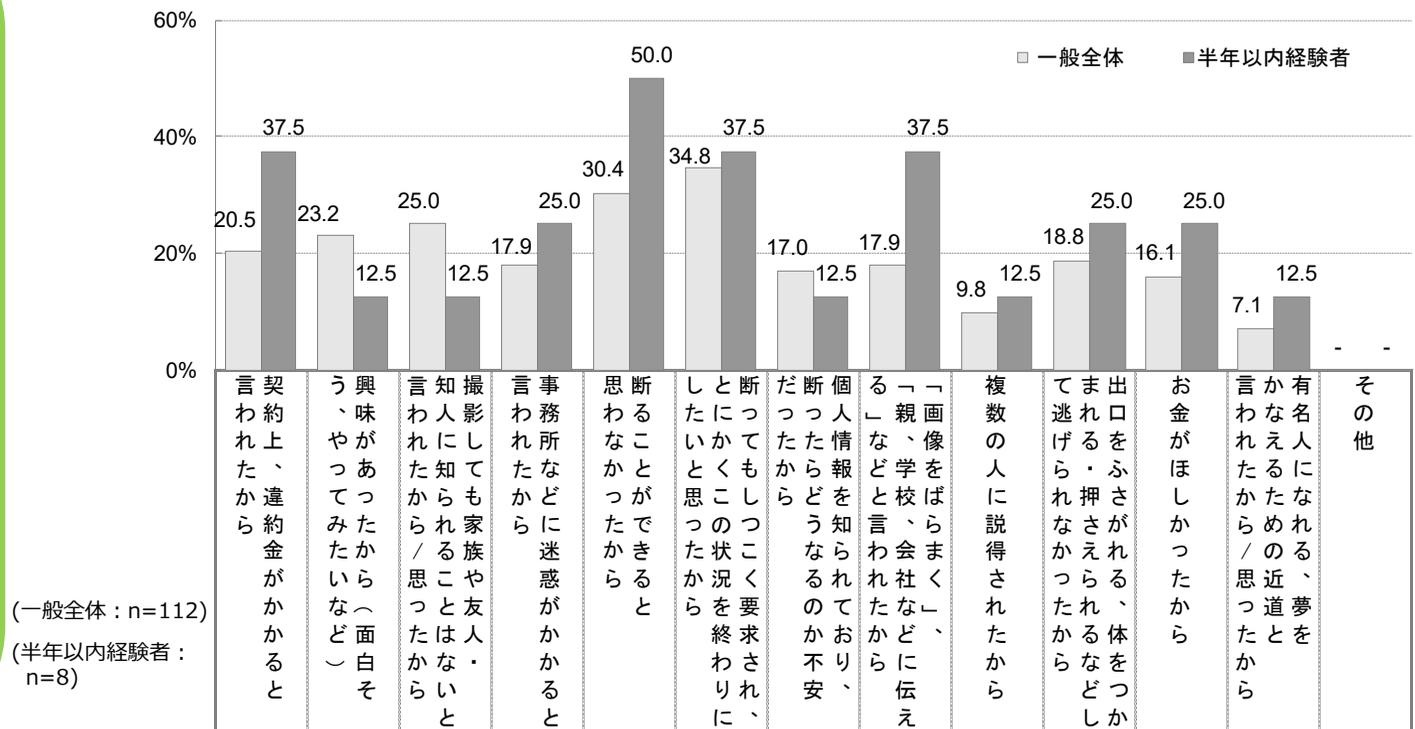
5. 求められた行為を断れなかった理由（本調査）

○望まないまま、求められた行為を実際に行った人が、求められた行為を断れなかった理由としては、

- **断ってもしつこく要求され、とにかくこの状況を終わりにしたいと思ったから（34.8%/39人）**
- **断ることができると思わなかったから（30.4%/34人）**
- **撮影しても家族や友人・知人に知られることはないと言われたから/思ったから（25.0%/28人）**

が上位にあがる（図10）。

図10. 撮影を断らなかった・断れなかった理由（報告書図2-15）



6. 相談の有無（本調査）

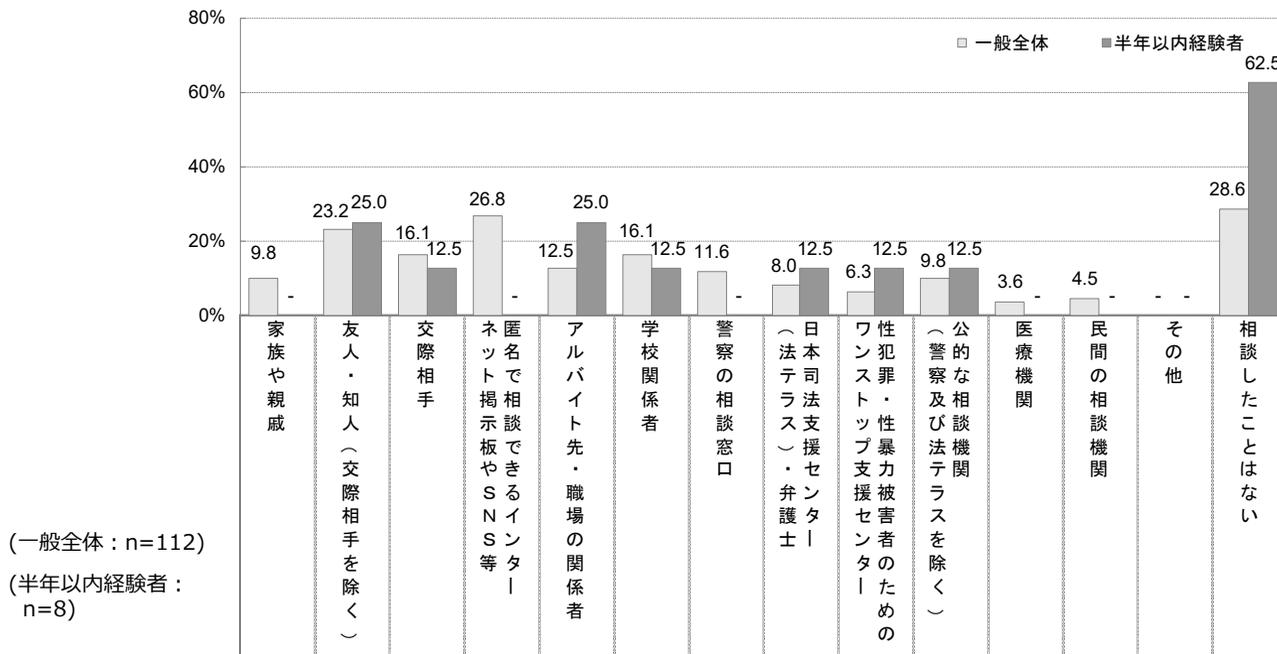
○望まないまま、求められた行為を実際に行った人のうち、**28.6%（32人/約3人に1人）**が性的な行為等の撮影を求められたことについて相談したことはない状況（図11）。

○相談をした人の中では、

- **匿名で相談できるインターネット掲示板やSNS等（26.8%/30人）**
- **友人・知人（交際相手を除く）（23.2%/26人）**

に相談する割合が高い（図11）。

図11. 望まないまま性的な行為等の撮影を行った人について、相談の有無（報告書図2-16）



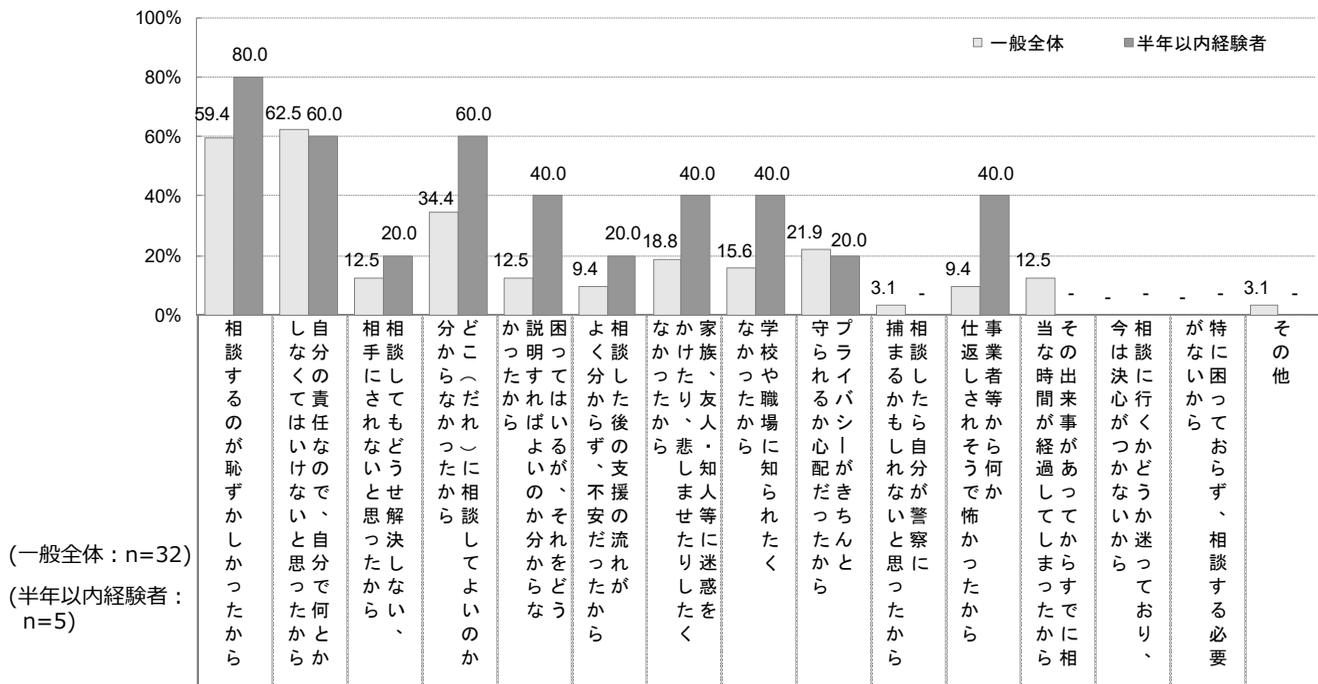
7. 相談しなかった・できなかった理由（本調査）

○性的な行為等の撮影を求められたことについて相談しなかった・できなかった理由としては、

- **自分の責任なので、自分で何とかしなくてはいけないと思ったから（62.5%/20人）**
- **相談するのが恥ずかしかったから（59.4%/19人）**
- **どこ（だれ）に相談してよいのかわからなかったから（34.4%/11人）**

が上位にあがる（図12）。

図12. 望まないまま性的な行為等の撮影を行った人について、相談しなかった理由（報告書図2-17）



8.性的な行為等の撮影による影響で、現在、困っていること（本調査）

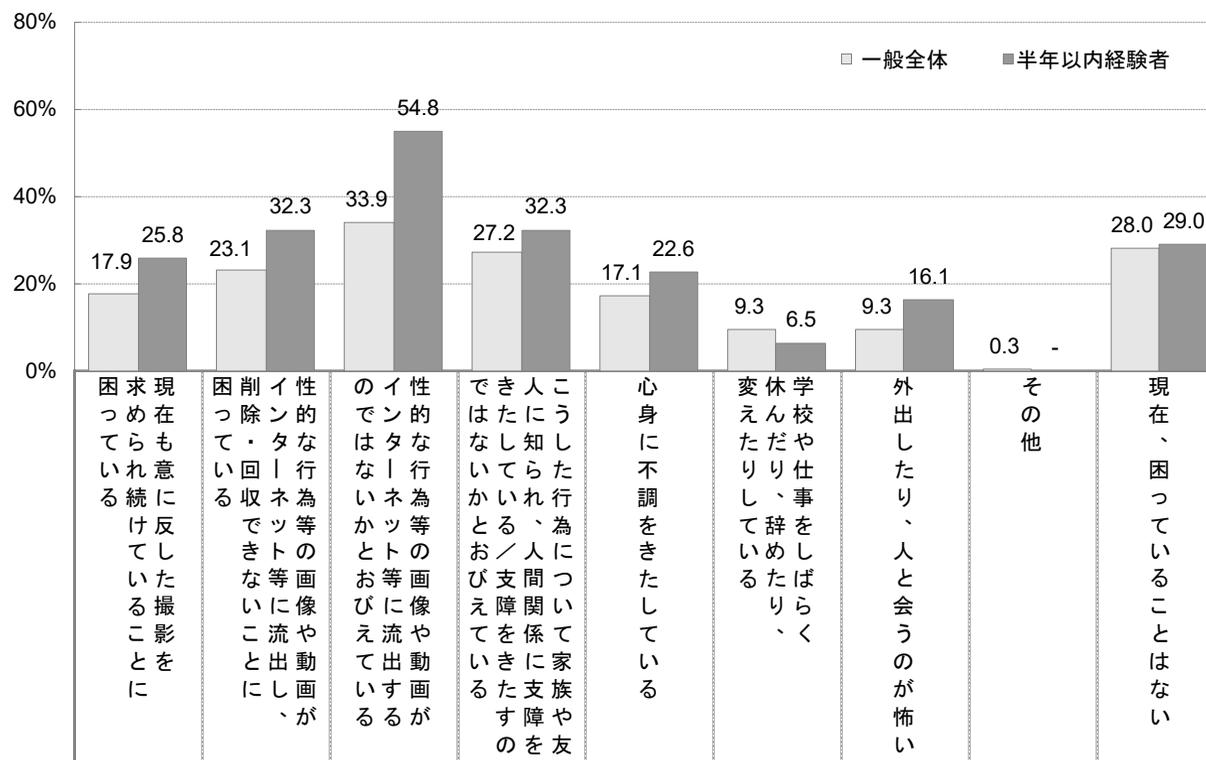
○性的な行為等の撮影を行った386人※が、性的な行為等の撮影による影響で現在困っていることとしては、

- 性的な行為等の画像や動画がインターネット等に流出するのではないかとおびえている（33.9%/131人）
- 「こうした行為について家族や友人に知られ、人間関係に支障をきたしている／支障をきたすのではないかとおびえている」（27.2%/105人）

が上位にあがる（図13）。

※聞いていない・同意していない性的な行為を求められ、実際に行った人及び事前に聞いていた・同意していた範囲で撮影を行った人

図13.性的な行為等の撮影による影響で困っていること（報告書図2-21）



(一般全体 : n= 386)

(半年以内経験者 : n= 31)

詳細分析結果

1. 性的な行為の撮影に関する問題の認知状況と被害の有無の関係

性的な行為の撮影に関する問題についてより知っているほど、

- 望まないまま、求められた行為を行う割合が低かった。
- 望まないまま、求められた行為を実際に行った人において、聞いていない・同意していない性的な行為の撮影を求められたことについて相談する割合が高かった。

2. AV出演被害防止・救済法の認知状況と被害の有無の関係

法律についてより知っているほど、

- 望まないまま、求められた行為を行う割合が低かった。
- 性的な行為等の撮影を求められたことや、撮影を求められて困っていることについて、相談する割合が高かった。

3. 公的機関の相談窓口の認知状況と相談の有無の関係

本問題における公的機関の相談窓口について知っているほど、性的な行為等の撮影を求められたことや、撮影を求められて困っていることについて、相談する割合が高かった。

4. 要求された内容の影響について

「性交の撮影やチャット等への出演」を求められた人は、他の内容※を求められた人よりも、

- 「性的な行為等の画像や動画がインターネット等に流出するのではないかとおびえている」「外出したり、人と会うのが怖い」といった悩みを抱える人の割合が高かった。
- 撮影の影響で困っていることについて相談する割合が低かった。

※「水着・下着・肌を多く出した衣類等を着た状態での撮影・チャット等への出演」「水着・下着・衣類の一部またはすべてを脱いだ状態での撮影・チャット等への出演」「胸、性器、おしり、足などを触られる様子の撮影・チャット等への出演」

5. 望まないまま、求められた行為を実際に行った人の、経験した出来事の特徴

一般全体で見た場合と比較して、望まないまま、求められた行為を実際に行った人の方が高くなった項目としては、「家族との離別」、「生活困窮・貧困」、「金銭による重大なトラブル」があった。

「若年女性の性暴力被害等に関するインターネット調査」 報告書〈参考〉

調査対象者について

事前調査（スクリーニング調査） 回答者属性（n=20,000）

- 【対象者】 15歳（中学生を除く）から39歳までの女性（調査委託業者のインターネットアンケートモニタ会員）
- 【有効サンプル】 計40,770人の回答を回収し、そのうち年代別人口構成比に合わせてランダムに抽出した20,000人の結果を分析
- 【年代別サンプル数】 10代：3,552人、20代：7,620人、30代：8,828人
- 【地域別比率】 東京都11.5%、大阪府8.1%、神奈川県7.8%、愛知県7.2%、埼玉県5.6%、千葉県4.7%、兵庫県4.6%、福岡県4.4%、北海道4.3%、広島県2.8%、静岡県2.6%、京都府2.2%、宮城県2.2%、他

本調査 回答者属性（n=2,678人）

1. 一般概況把握のためのサンプル（一般概況サンプル）

- 【対象者】 事前調査において、モデル・アイドル等の勧誘に応じた、又は募集広告に応募した経験があると回答した者
- 【有効サンプル】 2,575人
- 【年代別サンプル数】 10代：515人、20代：1,030人、30代：1,030人
- 【地域別比率】 東京都16.7%、大阪府9.0%、神奈川県8.1%、埼玉県6.6%、愛知県6.4%、千葉県4.9%、兵庫県4.6%、福岡県4.3%、北海道3.4%、静岡県2.3%、広島県2.2%、宮城県2.1%、京都府2.0%、他

2. ここ半年の概況把握のため、半年以内の経験者として追加回収したサンプル（追加回収サンプル）

- 【対象者】 事前調査において、半年以内に、モデル・アイドル等の勧誘に応じた、又は募集広告に応募した経験があると回答した者
- 【有効サンプル】 103人
- 【年代別サンプル数】 10代：66人、20代：37人、30代：0人

（注）本調査における分析の分母について

- 本調査の分析において、「一般全体」と記載がある場合は、特筆なき限り、上記1. 一般概況サンプル」の2,575人を分母としている。
- 一方、「半年以内経験者」と記載がある場合には、一般概況サンプル内の条件合致者と、追加回収サンプルの両方を含む。
- 以上により、「半年以内経験者」の値は、「一般全体」の値の内数となっていない。